

科目名 Course Name	ファッションスタイリング・コーディネート Fashion styling Coordinate				ナンバリング No.	C2-002	
年次	1 年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	飯塚 晃代						
連絡方法	C-Learning で対応。または栄養棟 3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修／選択	選択						
関連 DP	DP2, DP3						
授業の概要と 到達目標	6つの視点(Ⅰライフスタイル、Ⅱ色彩、Ⅲ素材、Ⅳイメージ、Ⅴアクセサリ、Ⅵ体型)からファッションコーディネートの基本的な知識・技術を習得し、人やモノが持っている魅力を最大限に引き出せるコーディネートテクニックを磨く。作品制作により可視化することで知識・技術を深め、さらに発表により知識・技術を定着させる。発表では、アピールポイントや工夫を凝らした部分などを、言葉で説明する力を身につける。最終的には、スタイリストしながらに自ら考えたファッションテーマに沿って、コーディネートテクニックを生かしたファッション誌面を作成する。						
授業の方法	① スタイリストやファッションアドバイザーの業務と求められる知識・技術について理解する。 ② ファッションコーディネートの視点(Ⅰライフスタイル、Ⅱ色彩、Ⅲ素材、Ⅳイメージ、Ⅴアクセサリ、Ⅵ体型)について理論的に理解し、コーディネートの提案をする。その際、日頃からファッションコーディネートに関心を持ち、作品制作のための材料を常に収集するよう努力する。 ③ 最終的には、コラージュ表現で、ファッション雑誌のページを作成する。 ④ プレゼンテーション(発表)により、ディスカッションしながら自己評価・相互評価をする。						
学習成果	L01						
	L02	コーディネートテクニックを身につけ、コーディネートの面からファッション商品とファッション関係業務について説明できる。					
	L03	テーマに合わせてコーディネートを提案し、そのポイントを言葉で表現できる。					
	L04						
課題に対する フィードバック	レポートや作品等提出物は速やかに講評し、掲示したり協働板で共有したりする。						
教科書／ 参考図書	授業内でプリント配布 参考図書:コーディネートテクニック 演出編(文化出版局) コーディネートテクニック アパレル編Ⅰ(商品知識) 文化服装学院編						
履修上の留意点 やルール等	●レポート等提出物の期限厳守 ●プリントを綴るファイルを用意すること。●日頃からファッションコーディネートについて関心を持ち、積極的に授業参加すること。●材料費は自己負担 ●施設の都合上、定員は 40 名程度 ●事前・事後に費やすべき時間の目安は各回 180 分						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	欠席・遅刻がなく意欲的に授業参加し、スケジュール通りに課題が進んでいるか評価する。		10				
レポート／作品	各視点を踏まえたコーディネートについて理解し、作品制作ができているかを評価する。授業ノートを綴りごとに提出し、理解度を測る。いずれも期限を過ぎた場合は減点する。		20	60			
発表	提案のアピールポイントを押さえ、わかりやすく説明できているかを評価する。聴く態度、他者評価態度についても評価する。			10			
小テスト							
試験							
その他							
合 計			30	70			

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス ファッションコーディネート必要性、セルフチェック
	事前・事後学習	ファッションコーディネートに関心を持ち、5つの作品制作のための材料を常に収集する習慣をつける。
2	授業内容	ファッションコーディネートの基礎知識と技術 スタイリストやファッションアドバイザーの業務と求められる知識・技術を理解する。
	事前・事後学習	ファッションコーディネートに関心を持ち、5つの作品制作のための材料を常に収集する習慣をつける。
3	授業内容	I 『ライフスタイルに視点を置いたコーディネートの提案』の説明（オケーションの分類等）
	事前・事後学習	次時の作成のための材料準備
4	授業内容	I 『ライフスタイルに視点を置いたコーディネートの提案』の作成【作品1】 ※作品はポートフォリオにまとめていく。
	事前・事後学習	次時の発表のための準備
5	授業内容	I 『ライフスタイルに視点を置いたコーディネートの提案』の発表 他者評価 II 『色彩に視点を置いたコーディネートの提案』の説明（色の知識と効果等）
	事前・事後学習	次時の作成のための材料準備
6	授業内容	II 『色彩に視点を置いたコーディネートの提案』の作成【作品2】
	事前・事後学習	次時の発表のための準備
7	授業内容	II 『色彩に視点を置いたコーディネートの提案』の発表 他者評価 III 『素材に視点を置いたコーディネートの提案』の説明（素材の組み合わせ等）
	事前・事後学習	次時の作成のための材料準備
8	授業内容	III 『素材に視点を置いたコーディネートの提案』の作成【作品3】
	事前・事後学習	次時の発表のための準備
9	授業内容	III 『素材に視点を置いたコーディネートの提案』の発表 他者評価 IV 『イメージに視点を置いたコーディネートの提案』の説明（イメージの捉え方等）
	事前・事後学習	次時の作成のための材料準備
10	授業内容	IV 『イメージに視点を置いたコーディネートの提案』の作成【作品4】
	事前・事後学習	次時の発表のための準備
11	授業内容	IV 『イメージに視点を置いたコーディネートの提案』の発表 他者評価 V 『アクセサリーに視点を置いたコーディネート』の説明 最終作品の説明
	事前・事後学習	最終作品のテーマに沿った材料を事前に収集する。
12	授業内容	VI 『体型に視点を置いたコーディネート』の説明 最終作品の再確認
	事前・事後学習	最終作品の制作計画を立てる。 次時の最終作品のテーマに沿った材料を事前に収集し持参する。
13	授業内容	スタイリングコーディネート作品（ファッション誌面の1コーナー）の製作① I からVIの視点を踏まえて最終作品を制作する。その際、学習内容を十分活用し、キャプションや説明に学習した用語を使用する。
	事前・事後学習	次時に完成するよう制作を進める。 最終作品のテーマに沿った材料を収集し持参する。
14	授業内容	スタイリングコーディネート作品の製作② 次時のプレゼンの説明【作品5】
	事前・事後学習	ポートフォリオの確認、プレゼン準備
15	授業内容	最終成果物（コーディネートスタイリングマップ）のプレゼン、他者評価 視点別提案4種類及び最終成果物をポートフォリオにまとめ提出【ポートフォリオ提出】
	事前・事後学習	ポートフォリオを最終確認して提出